

令和5年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：25005
学校名：平岸小学校

改訂のポイント

○「安心して学習できる環境」「自分で考えたり、自分で問題解決したりする楽しい授業」「教職員や友達との良好な人間関係」を理念に、急がずゆっくり考え、自己調整し、多様な考えを尊重し合う「主体的・対話的で深い学び」を目指す。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
標目	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆「他者との協働（協同）を楽しむ子ども」「学びを自己調整しながら主体的に学び続ける子ども」		
「学ぶ力」に関する成果や課題	主体的に学習に取り組む態度	【昨年度の具体的な取組】 ①SEL（ソーシャル・エモーショナル・ラーニング）を「ハッピータイム」として位置付け、児童が共に協力し、主体的に学ぶために基盤となる力を育成する。 ②協働（協同）学習を学習改善のテーマとして位置付け、全員参加の学習を生み出すことで、自己肯定感を高め進んで学ぶ態度を育成する。	【成果】 ⇒「ハッピータイム」を通じて、自分の感情をコントロールし、友達と豊かに関わり合う素地を築くことができた。 ⇒協働（協同）学習の中でグループ活動を多く取り入れ、人と関わり合いながら学ぶことの楽しさを味わうことができた。	【課題】 ◇「ハッピータイム」を子どもたちにとってより効果的なものにするためのカリキュラムの再構築が必要。 ◇授業のねらいに沿った協働（協同）学習にするための、教材研究や協働（協同）学習の進め方について検討を重ねる。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ○協働（協同）学習の中で、自らの役割を認識し、いかに全員で協力して課題解決に臨むかを問う中で、個々の思考力・判断力・表現力を高める。	【成果】 ⇒グループ内での役割を明確にしたことで、自分の長所を生かして、協働（協同）学習を進める姿が見られた。	【課題】 ◇全員参加のグループ学習を目指したが、それが授業のねらいに近づくものにならなかった。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ○タブレット端末（まなびポケット等）の有効活用。 ○平岸スタンダードを家庭に周知し連携を図るとともに、学習準備や家庭学習のより一層の習慣化を目指す。	【成果】 ⇒タブレット端末の日常化はかなり進めることができ、多くの子が不自由なく操作できるレベルとなった。 ⇒学びポケットなどを空き時間などに有効に活用し、自ら進んで学ぶ姿が見られた。	【課題】 ◇長期休業期間等での計画的なタブレットの持ち帰りを推進し、家庭学習で有効に活用できるようにする。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 表情豊かに「生き活きと学びを楽しむ子ども」を目指した授業改善		
	具体的な改善策（取組）	○主にSELで自他の感情の理解やコミュニケーションの基礎を学ぶ。 ○SELで学んだことを活用しながらピア・サポートでコミュニケーションを実践し、頼り頼られ、互いに必要とし合う関係を築き、自己有用感や自己肯定感を高めていく。 ○PBSを通して望ましい姿や行動を予め児童に明示し、即時評価でその強化を図り、安心安全で支持的な学級風土をつくり上げていく。そして、日常の授業の中で協働（協同）的な学びを意図的に展開することで「他者との協働（協同）を楽しむ子ども」の育成を達成する。 ○「学びを自分事として捉えられる課題提示の工夫」「複数の学び方の提示と、児童の選ぶ力のトレーニングに付き合う力」「自己の学びを振り返る場の設定」と「教師による適切なコーチング」を意識した授業改善を進め、学びを自己調整しながら主体的に学び続ける子どもの育成を目指す。		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等） ○全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等を活用 ○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）、ICTの活用に係るアンケートの具体的な活用方法		